

城西人文研究 既刊総目次

創刊号 (1973 年)

序	武 市 春 男
『城西人文研究』の創刊に際して	蒔 田 栄 一
ニーチェとキリスト教倫理	木 阪 昌 知
マヤの石造建築における「持送りアーチ」について	貞 末 堯 司
意味と認識	
—— パース研究 (4) ——	西 勝 忠 男
シーハラヴァットパカラナ訳註 (Ⅱ)	
—— 第 1 章 第 3・4・5 話 ——	森 祖 道
独白と対話	
—— ジョイスとベローの距離 ——	茂 呂 公 一
ポーにおけるグロテスクとアラベスク	水 田 宗 子
内村鑑三おぼえ書き (その八)	岩 谷 元 輝
人間の社会的構造と疎外	松 浦 孝 作
『靈魂の系図』について	
—— Carlyle を中心として ——	松 田 福 松
カフカの世界	
—— 非ユダヤのユダヤ人 ——	山 口 勲

第 2 号 — 蒔田栄一教授追悼論文集 — (1974 年)

巻 頭 言	武 市 春 男
バスク語の単文における語順の文体的価値について	堀 田 郷 弘
内村鑑三おぼえ書 (その九)	岩 谷 元 輝
精神病理学的立場からみたニーチェ思想の枠構造 (1)	木 阪 昌 知
『サムラー氏の惑星』試論	森 哲 夫
「キリスト者貴族に与う」にみられるルターの思想考	太 田 広
宗教史にみる日本的均衡のメカニズム (Ⅳ)	
—— マーケティングと宗教の関連において ——	渡 辺 好 章
遠近法と身体性について	山 口 勲

同一性（アイデンティティ）に関する諸問題 — その一 — ……	帆 足 喜与子
凉袋稿『風雅艶談』浮舟部 — 翻刻 — ……	黄 色 瑞 華
「紙」以前の書写の用材について — ……	井 口 大 介
故蒔田栄一教授 追悼……………	松 田 福 松
ああ蒔田栄一先生よ……………	伊 部 政 一

第 3 号 — 城西大学開学十周年記念論文集 — (1975 年)

アンデス古代文明の諸問題……………	貞 松 堯 司
発見の哲学 — パース研究 (6) — ……	西 勝 忠 男
首都圏の都市成長前線帯におけるサービス業地域の形成 — 埼玉県坂戸町「きどうち」と「駅東通り」の比較 — ……	田 村 正 夫
鉄齋と華山……………	小 野 浩 浩
日本民主主義研究序論……………	森 田 昌 幸
遠近法と身体性 — その哲学的意味 — ……	山 口 勲
Feminine Failure and the Modern Hero: Mad Women in Sylvia Plath's <i>The Bell Jar</i> and Joan Didion's <i>Play It As It Lays</i> ……	水 田 宗 子
『おらが春』の素材 ……	黄 色 瑞 華
日本におけるアンドレ・マルロー受容 — 1941 年 (昭 16) まで — ……	堀 田 郷 弘
ジェイムズ・ジョイス研究 — 造形への意識 — ……	茂 呂 公 一
作品とその批評 — <i>Robert Elsmere</i> と “Robert Elsmere” — ……	萩 原 博 子
司馬遷論……………	黒 羽 英 男
三代日本主義の系譜について……………	松 田 福 松

第 4 号 (1977 年)

論理の自律性について — パース研究 (7) — ……	西 勝 忠 男
カントの「定言命法」……………	山 口 勲
中央アメリカの考古学史 — 先コロンブス期文化の研究を中心とした — ……	貞 末 堯 司
クレアラ・アン・ペイター覚え書……………	萩 原 博 子

『教育者としてのショーペンハウアー』から

——ニーチェと自然——	河内信弘
アンドレ・マルローと日本行動主義文学運動	堀田郷弘
アンドレ・ジッドの方法（Ⅱ）——生命の美学——	陶山 嘯
冷たき牧歌	
——キーツの『ギリシャの壺の賦』によせて——	永井豊実
『おらが春』の素材（続）	黄色瑞華
歌人「安江不空」	小野浩

第5号（1978年）

南アメリカの考古学史	貞末堯司
Manorathapūraṇi 源泉資料年代論	森 祖道
大学英語教育の問題点（上）	鮫島久男
クレアラ・アン・ペイター覚え書（Ⅱ）	萩原博子
『シンベリン』皮肉な遊戯	戸所宏之
カフカ研究の視座を求めて	山口 勲
東京日仏会館開館式におけるマルロー氏の演説（1960年2月22日）	
と東京羽田空港におけるインタビュー（2月29日）	堀田郷弘
アンドレ・ジッドの方法（Ⅲ）	陶山 嘯
ニーチェと自然（一）	河内信弘
『おらが春』第一話の設定をめぐる	黄色瑞華

第6号（1979年）

ヴィトゲンシュタインの思想を理解するために	山口 勲
パーソナリティテストとしての SCT に関する一考察	
——特に応用とその解釈をめぐる——	駒崎 勉
ジェイムズ・ジョイスの手法について（Ⅰ）	
——我国におけるジョイス評価の推移——	茂呂公一
A Textual History of Walter Pater's	
<i>Renaissance</i>	Hiroko Hagiwara
マクベスの意識構造——「運命」「眠り」「時」——	小野 昌
ニーチェと自然（二）——『悲劇の誕生』——	河内信弘
全集本『おらが春』について	黄色瑞華

第7号 (1980年)

ヤスパースとフッサール

- 精神病理学の哲学的基礎 —山 口 勲
 PANTUN — puisi dan puisi rupa —黄 色 瑞 華
 国際水利法に関する一考察土 屋 生
 ジェイムズ・ジョイスの手法について (II)
 — 我国におけるジョイス評価の推移 —茂 呂 公 一
 The Development of the Audiolingual Approach
 — Trends in Language Methodology in the United States —
Fumiko Tamura
 『空騒ぎ』の冥と光 — 偽りの力学 —戸 所 宏 之
 「エンディミオン」における映像のあり方永 井 豊 実
 『ヴェニスの商人』における Venture について小 野 昌
 カミュとニーチェ — 『異邦人』と〈神の死〉 —村 岡 正 明
 アンドレ・ジッドの方法 (IV) — 生命の美学 —陶 山 嘯
 「騎士と死神と悪魔」
 — 『悲劇の誕生』におけるデューラーの銅版画をめぐる —
河 内 信 弘

第8号 (1981年)

- ヴィトゲンシュタインのケムブリッジ山 口 勲
 アメリカ文化論 (I)小松 光・金勝 久・茂呂公一・黒沢順三
 シャルル・モーロンの「精神批評」(1)越坂部 則 道
 「高き山々の頂きから」
 — 『善悪の彼岸』に添えられた詩に関する一つの試み —河 内 信 弘
 思想家としてのニイチェ小 野 浩
 『四山藁』の俳論黄 色 瑞 華

第9号 (1982年)

- アメリカ文化論 (II)金 勝 久
 ジョイスのパドバ・エッセイについて茂 呂 公 一

アンドレ・マルローの最初の美術論

《*La Peinture de Galanis*》(1922) について

- マルローの初期の美術論の研究 (前) —堀 田 郷 弘
 シャルル・モーロンの「精神批評」(2).....越坂部 則 道
 教育場面における夢の活用 (I)
 — その背景としてのフロイトとユング —細 部 国 明
 身・語・意の三業 (tīni kammāni) と carita, saṅkhāra,
 samācāra池 田 練太郎
 詩的コスモゴニーへの論理
 — ランボー詩の内的世界 —.....川那部 保 明
 ハイデガー先生の想ひ出.....小 野 浩
 [研究ノート]
 俳諧連歌における謡曲の文句取り (一)黄 色 瑞 華

第 10 号 (1983 年)

ヴィトゲンシュタイン：太洋の測量技師

- 逆限定のパトス —山 口 勲
 アメリカ文化論 (Ⅲ)金 勝 久
 ジョイスのディケンズ・エッセイについて.....茂 呂 公 一
 教育場面における夢の活用 (Ⅱ)
 — 夢と宗教 —細 部 国 明
 Zur Entwicklung der deutschen Sprache
 in der DDRKuniomi Uchimura
 『失われた時を求めて』における作中人物の出現と
 話者のまなざし.....北川原 哲 夫
 カミュと〈他者〉.....村 岡 正 明
 [書 評]
 (I) LE DASAVATTHUPPAKARANA
 Édité et traduit par Jacqueline VER EECKE
 (II) LE SĪHALAVATTHUPPAKARANA
 Texte pâli et traduction par Jacqueline VER EECKE
森 祖 道

〔研究ノート〕

渭浜庵執筆一茶……………黄色瑞華

第11号（1984年）

〈人間＝記号〉論について……………西勝忠男

教育場面における夢の活用（Ⅲ）

— ユングの宗教夢解釈に対するフロムの批判 —……………細部国明

Erühneuhochdeutsch und Buchdruckerkunst – III.

Die Herausbildung der (verbalen) Satzklammer……………藤井明彦

Didaktische Probleme des Geschichtsunterrichts in den

sozialistischen Ländern am Beispiel der UdSSR……………Stefan Wundt

知と自我

— 初期シェリング哲学の原理について —……………小林保則

歌人 安江不空……………小野浩

『我春集』の序文をめぐって……………黄色瑞華

第12号（1985年）

ロンゴバルディ侵住建国をめぐる諸問題

— イタリア民族形成史の一こま —……………森田鉄郎

教育場面における夢の活用（Ⅳ）

— ユングの宗教夢解釈に対するボスの批判 —……………細部国明

ベン・ジョンソンの男性的雄弁の美学

— *Timber* の詩論を通じてジョンソンの詩を読む —……………平松哲司

Die Kommunistische Erziehung und ihre

Wertvorstellungen……………Stefan Wundt

シャルル・モーロンの「精神批評」(3)……………越坂部則道

『我春集』から『株番』へ……………黄色瑞華

〔研究ノート〕

農村集落における精神的ムラ境の諸相

— 茨城県桜村における虫送りと道切りを事例として —……………小口千明

ヴァイマル憲法制定国民議会における裁判官の審査権

— 「ヴァイマル憲法下の裁判官の審査権」研究序説 —……………畑尻剛

グスターフ・フライタークの〈Soll und Haben〉……………鈴木敏夫

第 13 号 (1986 年)

巻 頭 言	石 南 國
“鏡”の論理から“魂”の論理へ	
— 人間記号論序説 —	西 勝 忠 男
北欧中世 (スウェーデン) における自力救済慣行	
— 実力社会の一考察 —	伏 島 正 義
潮湯の偏在性に関する地理学的予察	
— 日本における海水浴普及との関連から —	小 口 千 明
ジョイスの“Exiles”における受難の思想について	茂 呂 公 一
Eloisa と Belinda の相違	石 川 郁 二
状態動詞・完了形・進行形・状態受動態に	
見られる共通特性	鎌 田 精三郎
R. Huch の〈スイスの春〉覚え書	
— 研究ノート —	鈴 木 敏 夫
J. ヴァイスヴァイラーの Seele の語源説をめぐって	藤 井 明 彦
ヴァージニア・ウルフ『燈台へ』における視点と	
人物描写について	飯 塚 英 一
エアリエルの材源再考	門 野 泉
パトナム, シドニーの <i>sprezzatura</i> 精神	
— 宮廷世界の美学と「ルネサンス・ヒューマニズム」の対峙 —	
	平 松 哲 司
The Dimensions of the U. S. — Japanese	
Cultural Conflicts Underlying the Trade Issue	古 川 友 章
神話概念の変遷Ⅱ	
— 翻訳語としての『神話』をめぐって (上) —	天 沼 春 樹
自己言及のかたち	
— 『イリュミナシオン』『生活Ⅲ』と「生活Ⅰ」を読む —	新 宅 巖
フロベールにおける登場人物と場面	大久保 政 憲
『息子』	
— 翻 訳 —	アルトゥール・シュニッツラー 春 日 正 男
『バシュラールと過したひと夏』とその研究Ⅰ	越坂部 則 道
アンドレ・ジッドの方法 (VI)	陶 山 暎

アンドレ・マルロー「ルオーの新作についての覚書」――

絵画における悲劇的表現をめぐる「の翻訳と解題」……堀 田 郷 弘
 「シルス・マリーア」をめぐる……河 内 信 弘
 日中戦争開戦当初における対植民地・「満州」米政策……大豆生田 稔
 歌人 安江不空・序(3)

――大和歌の問題――……小 野 浩
 『志多良』の序文をめぐる……黄 色 瑞 華
 高橋克巳論――虚無僧のパトス――……山 口 勲

第 14 号 (1987 年)

Mahāsīvatthera as Seen in the Pāli Aṭṭhakathās……Sodō Mori
 キーツの『秋に寄せて』(二)

――第 2 連の情景――……永 井 豊 実
 坪内逍遙とシェイクスピア

――帝劇『ハムレット』をめぐる――……小 野 昌
 TENSE and TIME in English……Seizaburo Kamata
 コシンスキーの『自己芸術』: *Steps* をめぐる……繁 田 眞 弓
 Kajii Motojiros “Fliegen im Winter”……Stefan Wundt
 E. T. A. ホフマン『さびれた家』

――作話技術を中心に――……齊 藤 洋
 バルザックの小説の提示部について……佐 野 栄 一
 [研究ノート]

ニーチェにおける詩人

――ニーチェの詩の理解のために――……河 内 信 弘
 [研究ノート]

井泉水編『一茶俳句集』入集の句(一)……黄 色 瑞 華
 イェイツの「一エーカーの草地」について

――〈悟り〉か〈狂気〉か――……小 堀 隆 司
 アポリネールの恋の詩と真実……堀 田 郷 弘

第 15 巻 第 1 号 (1987 年)

推論の妥当性から〈魂〉の論理性へ……西 勝 忠 男

“Elegy to the Memory of an Unfortunate

- Lady” と “Eloisa to Abelard”……………石 川 郁 二
Faerie Queene, Book I における「光」と「闇」……………古 川 啓 二
 [研究ノート]
 井泉水編『一茶俳句集』入集の句（二）……………黄 色 瑞 華
 「松のひゞき波をしらぶ」考……………安 保 博 史
 イェイツ「マイケル・ロバーツの二重の幻想」について
 — 幻滅の狡智 —……………小 堀 隆 司

第 15 巻 第 2 号 (1987 年)

- A Study of the *Sihalavatthupparakana*……………Sodō Mori
 The Acquisition of English and the Learner's Attitude
 — Motivation vs. Ego Boundary —……………Fumiko Tamura
 James Joyce の “Exiles” と芥川龍之介の
 『藪の中』との類縁性 (1)
 — 人物像を中心にして —……………茂 呂 公 一
 結婚で終わらない喜劇, *Love's Labour's Lost* の構造……………小 野 昌
 テオドア・フォンターネ: グスタフ・フライタークの
 〈借り方と貸し方〉(試訳)……………鈴 木 敏 夫
 ゲーテの『ヴィルヘルム・マイスターの遍歴時代』
 におけるマカーリエ神話……………荻 野 静 男
 神話概念の変遷 I
 — Mythos の語史に関して (上) —……………天 沼 春 樹
 ニーチェにおける夕
 — 詩人としてのニーチェ —……………河 内 信 弘
 [研究ノート]
 井泉水編『一茶俳句集』の句（三）……………黄 色 瑞 華

第 16 巻 第 1 号 (1988 年)

- ジョイスの “Exiles” と芥川龍之介の『藪の中』に
 おける卍巴模様の構造と、真相の曖昧さの
 意味について
 — ジョイス受容史への加筆の試み —……………茂 呂 公 一

カミュの「無差異」について……………村 岡 正 明
 Dostoevskij の小説における思想上の傾向……………シュテファン・ヴント
 イェイツ「ビザンチウムへの船出」について

— 聖なる彼方の詭計 — ……………小 堀 隆 司
 バシュラルの死をめぐる

— 『バシュラルと過したひと夏』とその研究Ⅱ — ……………越坂部 則 道
 ニーチェにおける第七の孤独……………河 内 信 弘
 [研究ノート]

井泉水編『一茶俳句集』入集の句（四）……………黄 色 瑞 華

第16巻 第2号（1988年）

ワーグナーの楽劇『トリスタンとイゾルデ』

— 《死の葉》をめぐる — ……………春 日 正 男
 『結婚の生理学』におけるバルザックの政治

と文学の問題……………佐 野 栄 一
 イェイツの「塔」について

— 反復としての回想 — ……………小 堀 隆 司
 [研究ノート]

井泉水編『一茶俳句集』入集の句（五）……………黄 色 瑞 華

第17巻 第1号（1989年）

The Value of the Pāli Commentaries as

Research Material ……………Sodō Mori
 Eloisa は幸福を手に入れるか

— *An Essay on Man* を基にして — ……………石 川 郁 二
 西ベルリンと国際関係

— ドイツ人のベルリン報告 —……………シュテファン・ヴント
 Zur Erzählstruktur in Kafkas

《Von den Gleichnissen》……………Tetsuo Kotani
 ディオニュソス酔歌（翻訳）……………河 内 信 弘
 [研究ノート]

井泉水編『一茶俳句集』入集の句（六）……………黄 色 瑞 華
 会員消息欄

第17巻 第2号 (1990年)

- 乳児の発達……………細 部 国 明
- モーツァルトの『魔笛』
 — オペラにおける教養小説 —……………春 日 正 男
- A Review of Tesl Method……………John Parsons
- “詩的に” 考える
 — ハイデッガーの作品『思い出』における
 考えることの本質への問い —……………高 島 明
- イエイツ『鷹の井戸』
 — 転生のための不可能性 —……………小 堀 隆 司
- 一人称のバシュラル
 — 『バシュラルと過したひと夏』とその研究Ⅲ —……………越坂部 則 道
- [研究ノート]
- 井泉水編『一茶俳句集』入集の句 (七)……………黄 色 瑞 華

第18巻 第1号 (1990年)

- 水滴の歌
 — T. S. エリオットの声 —……………佐 藤 亨
- 呪文としての文学
 — 『アメリカ人の成り立ち』の場合 —……………三 芳 康 義
- イエイツ『煉獄』について
 — 生の呪詛と断念 —……………小 堀 隆 司
- アンドレ・ジッドの方法 (Ⅶ)
 『法王庁の抜け穴』をめぐる (その1)……………陶 山 嘯
- [研究ノート]
- 井泉水編『一茶俳句集』入集の句 (完)……………黄 色 瑞 華
- 会員消息欄

第18巻 第2号 (1991年)

- The Temple of Fame* における
 過去, 現在, 未来……………石 川 郁 二
- 中国の古典比喻理論
 — 日本と西洋との比較を通して —……………楊 麗 雅

〔研究ノート〕

幼児期以後の発達……………細 部 国 明

Changing Views of the West's Impact

on China ……………J. H. Parsons

ドイツ民主共和国における拒否的教養小説の

影響力……………シュテファン・ヴント

ワグナーの『ローエングリン』

— 引き裂かれた魂 — ……………春 日 正 男

〔翻 訳〕

プリンツ・フォーゲルフライの歌

— “Die fröhliche Wissenschaft” にそえられた

ニーチェの詩の翻訳の試み — ……………河 内 信 弘

アンドレ・ジッドの方法（Ⅷ）

『法王庁の抜け穴』（その 2）

— 『鎖を離れたプロメテ』と『パリュード』をめぐって —

……………陶 山 嘯

第 19 巻 第 1 号（1991 年）

『恋の骨折り損』の春と冬のかげ合いについて ……………小 野 昌

制度化された学校教育の功罪への問い

— I. イリッチ, K. アウリン, E. E. ガイスラーの

学校論を廻って — ……………高 島 明

漱石文学の比喩表現におけるイメージ研究

— 夢・絵画・幽麗 — ……………楊 麗 雅

イエイツ「自我と魂の対話」について……………小 堀 隆 司

アンドレ・ジッドの方法（Ⅸ）

『インモラリスト』— ソチの観点から……………陶 山 嘯

〔翻 訳〕

菊池 寛：蘭学事始……………河内信弘, シュテファン・ヴント（共訳）

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(1) ……………黄 色 瑞 華

第19巻 第2号 (1992年)

- 道化のコンセプト……………小 野 昌
 日本語助詞「は」と「が」
 — 情報伝達の観点から — ……………鎌 田 精三郎
 夏目漱石の比喩論……………楊 麗 雅
 ガートルード・スタイン：「戯曲」の始まり ……………三 芳 康 義
 〔翻 訳〕
 中島 敦：『弟子』……………河内信弘，シュテファン・ヴント(共訳)
 〔研究ノート〕
 嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(2) ……………黄 色 瑞 華

第20巻 第1号 (1992年)

- リルケとロシア絵画 — 三つの計画 — ……………安 家 達 也
 〔研究ノート〕
 教育評価について……………細 部 国 明
 嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(3) ……………黄 色 瑞 華
 〔翻 訳〕
 中島 敦：『弟子(その2)』および『山月記』
 ……………河内信弘，シュテファン・ヴント(共訳)
 「慰められるクフーリン」と「黒い塔」について
 — イェイツ最後の動揺 — ……………小 堀 隆 司

第20巻 第2号 (1993年)

- G. スタインの「メランクサ」
 — “Bottom Nature” を求めて ……………三 芳 康 義
 〔研究ノート〕
 エーミール・エルマティンガーの
 「ゴットフリート・ケラーの生涯」(再読) ……………鈴 木 敏 夫
 知能について — 知能構造と教育 — ……………細 部 国 明
 嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(4) ……………黄 色 瑞 華
 〔書 評〕
 「会社主義」と法 — 紹介=東京大学社会科学研究所編
 『現代日本社会』(全7巻) — ……………述 田 齐

イエイツ「動揺」について（I）

—〈存在〉から遙か離れて— ……………小堀隆司

第21巻 第1号（1993年）

アンドレ・ジッドの方法（X）

—『インモラリスト』—ソチの観点から(2)—……………陶山 嘯

シェイクスピアの『リア王』の材源について……………小野 昌

ワーグナーの『さまよえるオランダ人』

—永遠に呪われた者の救済について— ……………春日 正男

〔翻訳〕

中島 敦：『李陵』……………河内信弘，シュテファン・ヴント（共訳）

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(5) ……………黄色 瑞華

第21巻 第2号（1994年）

アンドレ・ジッドの方法（XI）

—『インモラリスト』—そのマニユスクリを追って— ……………鈴木 たけし

坪内逍遙と福田恆存

—劇作家とシェイクスピア—……………小野 昌

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(6) ……………黄色 瑞華

第22巻（1995年）

アンドレ・ジッドの方法（XIII）

—『インモラリスト』—そのマニユスクリを追って(3)— ……………鈴木 たけし

〔翻訳〕

中島 敦：『李陵』（その2）……………シュテファン・ヴント，河内信弘（共訳）

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(7) ……………黄色 瑞華

第23・24巻 合併号（1997年）

シェイクスピアの『リア王』のテイトによる改作について ……………小野 昌

Passion と Virtue の構成

- *Eloisa to Abelard* — ……石 川 郁 二
 イェイツ「動揺」について (Ⅱ)〈承前〉……小 堀 隆 司

第 25 卷 (1999 年)

- 自伝論について………鈴木 敏 夫
 『レノーレ』のケルトの余韻 ………永 井 豊 実
 現代日本語の未完了アスペクトと未来表現………鎌 田 精三郎
 アンドレ・ジッドをめぐるエッセー I
 —『新感情教育』草稿と『ブルターニュ紀行』
 をめぐって………鈴木 たけし
 萩原朔太郎『ニイチェに就いての雑感』について………河 内 信 弘

第 26 卷 (2000 年)

- イェイツ「万霊節の夜」について
 — その果しなき思惟の詩学 — ………小 堀 隆 司
 アンドレ・ジッドの方法 (XVI)
 —『インモラリスト』— そのマニュスクリを
 追って (6) — ………鈴木 たけし
 「ツァラトゥストラの歌」ニーチェ 1883-1885 ………河 内 信 弘
 [研究ノート]
 嘉永版『俳諧 一茶発句集』全注解 (8) ………黄 色 瑞 華

第 27 卷 (2002 年)

- リアの 3 人の娘たちと王権の行方………小 野 昌
 水戸藩「刑典摘要」について
 — 解題と翻刻 — ………神 崎 直 美
 [研究ノート]
 嘉永版『俳諧 一茶発句集』全注解 (9) ………黄 色 瑞 華

第 28 卷 (2003 年)

- イェイツ
 「ハールーン・アル＝ラシードの贈り物」について (I) ……小 堀 隆 司

西国筋郡代寺西元栄の徒罪認識と人足寄場改革案

—— 老中水野忠邦への上申書を素材として —— …………… 神 崎 直 美
〔研究ノート〕

G. ケラー『緑のハインリヒ』

—— 三人の女性登場人物の背景描写 —— …………… 鈴 木 敏 夫
嘉永版『俳諧 一茶発句集』全注解 (10) …………… 黄 色 瑞 華

第 29 卷 (2006 年)

制限主権論…………… 森 田 昌 幸
アメリカ黒人女性の奴隷体験

—— ブラック・フェミニズムの源流を探して —— …………… 大 橋 稔
〔研究ノート〕

文章理解を促進する図解についての

認知心理学的研究…………… 鈴木明夫・栗津俊二

『おらが春』所収句全注解 (六)…………… 黄 色 瑞 華

イエイツ「学童たちのなかで」(その一)…………… 小 堀 隆 司

「たわむれ たくらみ しかえし」

—— 『楽しい知識』に添えられたニーチェの詩の翻訳の試み ——

…………… 河 内 信 弘

「刑法新律草稿」に関する一考察

—— 彦根藩佐野領「刑法窺留」を素材として —— …………… 神 崎 直 美